



# CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 加古川校 TEL. 079-454-1447

11月になって、肌寒く感じる日が増えてきました。新型コロナウイルス感染拡大も心配ですが、気温が下がると、風邪やインフルエンザにかかりやすくなります。体調管理に注意して毎日の活動に積極的に取り組んでいきましょう。



(yoshi/PIXTA)

だれでも  
分かる

教育情報  
&  
ニュース



(写真 MORI/PIXTA)

## 11月の祝日「文化の日」って、どんな日？

11月3日は「文化の日」です。「国民の祝日に関する法律」では、「自由と平和を愛し、文化をすすめる日」と定義づけられています。11月3日が文化の日と定められたのは、日本国憲法の公布が1946年（昭和21年）11月3日だったからです。

もともと、11月3日は明治天皇の誕生日「明治節」で、戦前から日本人になじみのある日でした。第二次世界大戦後、連合軍総司令部（GHQ）占領下で新憲法が制定されましたが、古い日本の価値観を切り離したいGHQの反対によって、11月3日は憲法記念日とはなりません。その代わりに制定されたのが文化の日だったのです。ちなみに、「憲法記念日」は日本国憲法が施行された5月3日です。

公布日は、国民に対して新憲法の制定を知らせた日であり、施行日は、新憲法が実際に効力を持った日です。この違いも知っておくとよいでしょう。

芸術の秋、皆さんも文化に目を向けてみてはどうでしょうか？

## 本来の意味、わかる？「国語に関する世論調査」

文化庁が毎年行っている「国語に関する世論調査」によると、「敷居が高い」「浮足立つ」など、本来の意味とは異なる解釈をする人が増えていることがわかりました。

今回の調査では、今年の2～3月に16歳以上の男女1994人が回答しました。「浮足立つ」は本来は「恐れや不安で落ち着かない」という意味ですが、「喜びや期待で落ち着かない」という意味で使う人が約60%いました。また、「敷居が高い」は本来「相手に不義理などをしてしまい、行きにくい」という意味ですが、「高級過ぎたり、上品過ぎたりして入りにくい」という意味で使う人が約56%いました。

また、「ガン見」「ガン寝」などで使われる「ガン」は30代以上の人は使わない人が多く見られました。話す時にはわかりやすい言葉を使うように気をつけたいですね。

## 現代の子ども 体大きくとも体力伴わず

スポーツ庁の「2019年度体力・運動能力調査」によると、今の子どもは、1964年の東京オリンピック直後の子どもと比べ体は大きくなった一方、体力の記録はあまり変わらないことがわかりました。

身長・体重を1964年度と2019年度で比べると、10代すべての年齢で19年度のほうが上回っていました。これは、栄養状態が改善したためと見られます。

しかし、運動での記録はあまり変わっておらず、ボール投げでは10代すべての年齢で1960年代の平均よりも低い値となりました。1985年ごろまでは体格、体力ともに伸びていましたが、その後は体力だけが低下しています。運動が得意な子とそうでない子の二極化が進んできています。

注目！アメリカ大統領選挙

# 日米のリーダーの決め方を比べよう

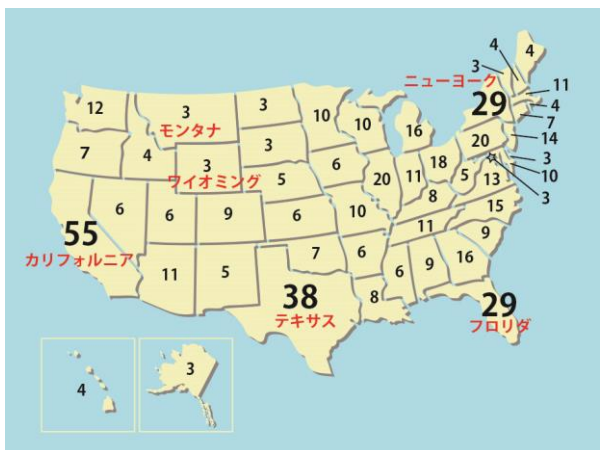


今年(ことし)は4年に1度のアメリカ大統領選挙(だいとうりょうせんきよ)の年(とし)です。ニュースでも多く取り上げられていますね。今年(ことし)は日本でも総理大臣(そうりだいじん)が交代(こうたい)しました。日米(にちべい)のリーダーの選び方(えらひかた)の違い(ちがひ)を見てみましょう。(イラスト：エミル, Ylivdesign/PIXTA)

## アメリカは「選挙人制度」で大統領を決める

アメリカのリーダーである大統領(だいとうりょう)選挙(せんきよ)の投票日(とうひょうび)は、アメリカの法律(ほりりつ)で「11月の第1月曜日の次の火曜日」と決まっています。この法律(ほりりつ)は150年以上も前から続いています。アメリカ国民(こくみん)で18歳以上なら、大統領選(だいとうりょうせん)で投票(とうひょう)する資格(しやく)があります。投票(とうひょう)は州(しゅう)ごとに国民(こくみん)の直接投票(ちよくせつとうひょう)によって行われ、その後(ご)、選挙人(せんきよにん)という人(ひと)たちがその結果(けっか)を受けて後日(ごじつ)改めて投票(とうひょう)するという、2段階(にせんだい)に投票(とうひょう)する形式(けいしき)で選挙(せんきよ)が行われます。

「選挙人(せんきよにん)」とは、人口(じんこう)などに応じて各州(おお)と首都ワシントンD.C.に割り当てられた「大統領(だいとうりょう)を選ぶ権限(けんげん)をもつ代表(だいひょう)」のことです。例えば人口(じんこう)の多いカリフォルニア州(カリフォルニア)は55人、テキサス州(テキサス)は38人、逆に少ないモンタナ州(モンタナ)やワイオミング州(ワイオミング)などでは3人とかなり差(さ)があります。アメリカでは、その州(しゅう)で過半数(かはんすう)を取った候補(こうほ)がその州(しゅう)全員の選挙人(せんきよにん)すべてを獲得(かくとく)する「勝者総取り(しょうしやそうどり)」方式(かふしき)を採用(さいよう)しています(メーン州(しゅう)とネブラスカ州(ネブラスカ)は例外的(れいがいてき)に勝者総取り(しょうしやそうどり)しない)。そして全米(ぜんまい)538人の選挙人(せんきよにん)のうち、過半数(かはんすう)の270人以上(にん)を獲得(かくとく)した候補(こうほ)が、最終的(さいしゅうてき)な勝者(しょうしや)、つまり次(つぎ)の大統領(だいとうりょう)となるのです。このような方式(かふしき)の選挙(せんきよ)のため、前回(ぜんかい)4年前(ねんまえ)の大統領選挙(だいとうりょうせんきよ)では、総得票数(そうとくひょうすう)では民主党(みんしやとう)の候補(こうほ)のほうが200万票(まんひやうい)以上多(おほ)かったにもかかわらず、共和(きやうわ)党(とう)のトランプ候補(とらんぷこうほ)が74人多(おほ)い306人の選挙人(せんきよにん)を獲得(かくとく)し勝利(しょうり)したという不思議(ふしぎ)な結果(けっか)となりました。



▲各州の選挙人の数



▲選挙人制度のしくみ。敗北するとわずかな票差でも、選挙人を獲得できない。

## 日本は国会で指名して総理大臣を決める

日本(にっぽん)では総理大臣(そうりだいじん)を決めるため、国会(こっかい)の衆議院(しゅうぎいん)と参議院(さんぎいん)両方(りやうほう)で選挙(せんきよ)が行われます。総理大臣(そうりだいじん)を決めるときは、日本(にっぽん)でも選挙(せんきよ)ですが、投票(とうひょう)できるのは国民(こくみん)ではなく国会議員(こっかいぎいん)です。国会議員(こっかいぎいん)を選ぶのは国民(こくみん)なので、総理大臣(そうりだいじん)選びにも、国民(こくみん)の意思(いし)は反映(はんえい)されていると言えます。政党(せいとう)の総裁(そうさい)などが内閣総理大臣(ないかくそうりだいじん)の候補(こうほ)となり、選挙(せんきよ)で過半数(かはんすう)を獲得(かくとく)した国会議員(こっかいぎいん)が総理大臣(そうりだいじん)に指名(しめい)されます。このため、総理大臣(そうりだいじん)はふつう国会議員(こっかいぎいん)が多い政党(せいとう)から選ばれます。そして、その後(ご)、天皇陛下(てんのうへいか)から任命(にんめい)されて、内閣総理大臣(ないかくそうりだいじん)となります。